

プレスブレーキ 事故事例集

RM21-082

銘板の警告を守らないと、思わぬ事故の原因となる恐れがあります。



材料と金型に手を挟まれます。材料を持つ位置に注意して下さい。

事例1：コの字曲げで受傷

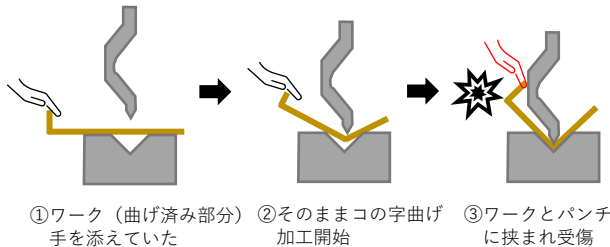


受傷時の作業姿勢

【発生状況】

- パンチ GN208A
ダイ 2V1220 V12側使用
- 板厚2mmのコの字曲げ加工
- 2工程目の曲げ時にワークとパンチに右手中指を挟まれ受傷

【概略図】



事例2：ワークとダイに挟まれ受傷

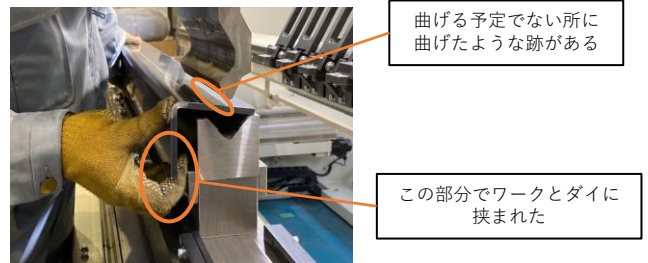


受傷時の作業姿勢

【発生状況】

- 3工程曲げ製品の作業中
- 1工程後、ワークがうまくセットされない状態でフットスイッチを踏んでしまう
- ワークとダイに挟まれ受傷

【概略図】



金型間に手を挟まれます。作業中、またはフットスイッチを踏んだまま上下金型間に手を入れないで下さい。
また金型交換時は、メインモータを停止して下さい。

事例3：金型に挟まれ受傷

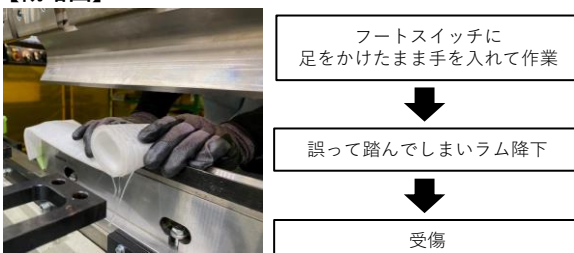


受傷時の作業姿勢

【発生状況】

- FSシート（材料傷防止シート）の貼付け作業中
- 誤ってフットスイッチを踏んでしまう
- 上下の金型に挟まれ受傷

【概略図】



事例4：ワーク突当てミスにより受傷



受傷時の作業姿勢

【発生状況】

- ワークの鈍角曲げ部分をバックストップに突当て
- ワークがバックストップ下に潜り込んでしまう
- 上下の金型に挟まれ受傷

【概略図】

